

第 6 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 27 年 10 月 28 日（水）午後 2 時 30 分～

ところ 京都府医師会館 2 F 212・213 会議室

△森会長挨拶

森府医会長は、国会が TPP や安保法案等の重要な課題を多数抱えているにもかかわらず、通常国会のみの開催に留まったことに対する安倍内閣の政治運営に苦言を呈した。

また、横浜のマンション施工不良を隠蔽しデータ改ざんを行う業者の横行、子ども同士の SNS を利用したいじめや、親の子どもに対する虐待から殺人にまで至るような悲惨な事件が起こる現状に、社会全体が負の連鎖に陥っているのではないかとの懸念を示し、最後に医療においては地域包括ケアの推進、少子化対策にも力を入れ、医師会としてしっかりした提言をしていかなければいけないとの強い意志を示し挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 最近の中央情勢について（古家理事）

平成 27 年 9 月下旬から 10 月中旬にかけての社会・医療保険状況について、平成 28 年度の診療報酬改定の議論を中心に報告した。

2. 京都府医療推進協議会イベントについて（古家理事）

11 月 8 日（日）に「明日からできる子育て支援 子育てファミリーをみんなで応援！」をテーマに、みやこめっせで開催されることを紹介。パネルディスカッションや相談コーナーだけでなく、子ども向けイベントも盛りだくさんであると説明し、会員各位に積極的な参加を求めた。

3. 麻薬免許更新申請について（近藤理事）

平成 27 年 12 月 31 日（木）が有効期限である麻薬免許の更新手続きの期限が迫っており、速やかな手続きを呼びかけた。

4. 初心者医療事務講習会について（内田理事）

11 月 11 日（水）から府医会館で開催される「初心者医療事務講習会」について、受講人数に余裕があることを説明し、初心者以外の方にも広く参加いただけるよう呼びかけた。

5. 在宅療養コーディネーター・フォローアップ研修会の出席について（関理事）

12月12日（土）に開催される「第5回在宅療養コーディネーター・フォローアップ研修会」について、市町村単位で多職種連携体制が構築できるよう、各市町村職員に対しても参加を依頼しており、会員各位の多数の参加をお願いしたいと説明した。

6. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

11月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

7. その他

なし。

8. 地区からのご意見・ご要望

仁志川庶務担当理事（中西）から「75歳以上の高齢者に対する運転免許制度について、医師が認知症と診断した場合、患者の免許は取消しされる。患者が中小企業で勤務している場合、生活面で致命的になることも予想され、記入に躊躇する医師もいるのではないか。府医として統一した見解はあるのか」との質問に対し、西村府医理事は「公安委員会の指定する医師は現在6名と少なく、認知症サポート医や京都精神科病院協会などに参加いただいている、認知症総合対策推進プロジェクトでさらなる情報交換を行う必要がある。また、今後地区医師会の先生方との連携を強めていかなければならない。従って、精神科医会、認知症サポート医連絡会、京都精神科病院協会、認知症総合対策推進プロジェクトで情報交換を行っていくので協力いただきたい。また、今後行政や日医から情報が発信され次第周知させていただく」と説明した。

続いて若菜庶務担当理事（相楽）から「本日業者に4種混合ワクチンの発注を行ったところ不足していると報告を受けた」との意見が出された。現在、化血研が製造販売するワクチン製剤等については、承認書と製造実態の齟齬等についての厚労省への報告が適切になされていないことが判明したため、出荷の自粛が要請されている。森府医会長は「4種混合ワクチンは、化血研一社が全体の64%を製造しており他社製品で代替することは困難な状況であり、すみやかに確認・調査を行っている。日医にも申し入れを行っているが、厚生科学審議会感染症部会の決定がなされるまでは出荷調整が行われるだろう」との見解を示し、患者には少し待ってもらふことになるとの見通しを示した。